

えびさん

応援します! 《極地研》

【連載】国立極地研究所
第52次隊長にきく

7

立川と語ろう 立川に生きよう
July 2010
écoutez bien Vol.28 No.308



続々・立川から見える山 [最終回]

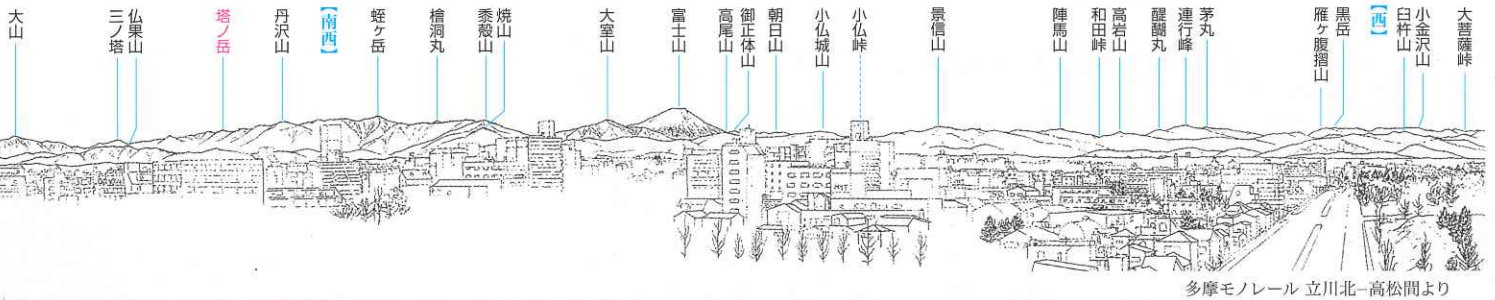
塔ノ岳

(とうのたけ)

1,491m

案内人: 守屋龍男

山岳展望図: 藤本一美



眺望抜群 石仏群佇む山頂

〔塔ノ岳へのコース〕

車で秦野市経由大倉登山口まで約1時間30分。
 電車・バスでは小田急渋沢駅経由で1時間30分ほど。
 大倉登山口→1時間40分→小草平(堀山ノ家)→30分→花立
 →40分→塔ノ岳→30分→花立→20分→戸沢分岐→1時間→
 戸沢→1時間20分→大倉登山口。

〔別のコース〕

ヤビツ峠→30分→登山口→2時間→烏尾山→1時間20分→
 新大日ノ頭→40分→塔ノ岳。



塔ノ岳は丹沢山塊の中核部にある山で、立川からは屋根型をした丹沢主脈の左奥に丸く見える。山頂からの展望は素晴らしく、富士山はじめ南アルプスの山々、式根島や相模湾などが見渡せる。

夏の真っ最中の8月中頃、急登で知られる大倉尾根から登った。最初は杉木立の中の緩やかな道であるが、まもなくジグザグの急登になる。オレンジ色をしたキツネノカミソリ(ヒガンバナの仲間)が暗い林床を明るく照らすように咲いている。やっとのことで尾根上に出ると涼風が吹いてきた。汗ばんだ頬に心地よい。人気のコースらしく山小屋が次から次へと現れる。

小草平(堀山ノ家)の少し先の休憩地で工具を持った二人連れに出会った。あちこちの登山道を整備しながら歩いているそうだ。これから沢(戸沢)へ下る道を整備するという。頭が下がる思いだ。

この先は延々続く丸太の階段道を黙々と登っていく。周囲には金網に守られた植生回復のための落葉樹の植林地が目につく。シカの食害や登山者の踏み荒らしのためか、尾根はかなり荒れている。展望が開ける花立を過ぎ、さらに続く急な階段道を息を切らしながら登ると、ぱっと目の前が開け、塔ノ岳の山頂に出た。

山頂は広い平地で中央に石柱が立っており、傍には古い石仏群が佇んでいる。周囲はベンチが二重、三重に取り囲み、野外劇場のようだ。かつては自然石の塔があったが、関東大震災のために崩壊し谷底に落ちたという。塔ノ岳の名はここからきている。

あいにく富士山は雲の中だったが、蛭ヶ岳や大室山など丹沢山塊の峰々が夏の日差しの中でまぶしく輝いていた。シカが数頭、カメラを向けても逃げず悠然と芝草を食べている。下山は元の道を下り、途中から、例の二人連れが整備した沢に降りる道に入り、大倉登山口に戻った。



愛犬と楽しく暮らす

立川と
語ろう

出張訓練のWAN LOVE — 渡辺元規さん

初めて出会ったのはクリスマスの日。井上レディースクリニックのクリスマスパーティーにサンタの衣装で登場したご一行。もちろんドッグトレーナーの渡辺さんと仲間たち！かわいらしい姿が忘れられず、今回改めて会いに行ってみた。



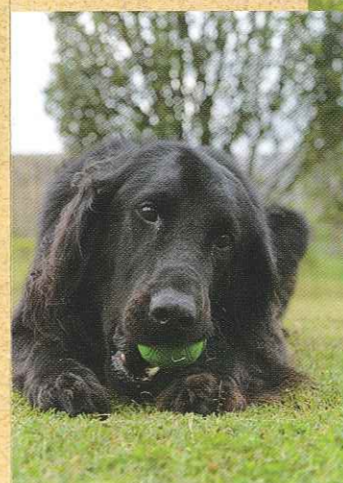
飼い主のお母さんぽつぱいのモモちゃん。ちゃんどできるかな？



渡辺 元規さん



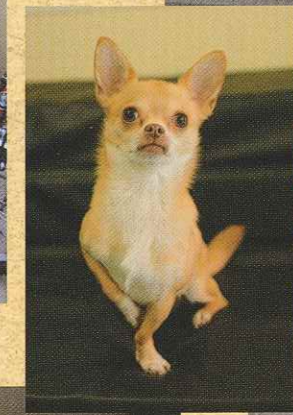
生後7ヶ月のズー。お父さんの一生懸命さばりメキメキ上達。



とてもやんちゃだった
風ちゃん。
いまは本当にあいこうです。



「はいはい、順番順番」



国立市谷保。インターに近い住宅地にドッグトレーナー 渡辺元規さんはいた。一緒に出迎えてくれたのは大きさも種類もいろいろな犬たち。全員「Welcome!」を体中で示してくれる。ん〜、なんか変だ。初めて会った人になぜこんなに親しく接するのだろうか？ちなみに、我が家の柴犬は絶対にこうはしない。「社会性がついているからですよ」と渡辺さん。社会性ね〜と言いながら中に入れてもらう。なんと、部屋に入ると今度はちゃんとそれぞれが決まった場所に座る。そして伏せる。ますます変だ！我が家の柴犬には見られない行動！「うちではこれができなかつたらケージから出しませんから」と笑う渡辺さん。そんなこと言ったら、うちの柴犬は一生ケージの中じゃない！「これは基本中の基本。序の口です」と、また笑う。

渡辺さんと話をしていると、我が家の柴犬のようなケースは決して少なくないらしい。犬とどう接していいかわからないまま、子犬がかわいいからと飼ってしまうからだ。例えば我が家の犬は息子を噛むのだけれどそれはなぜ？「息子さんとはそういう関係でつきあうのだと犬が理解しているからです。犬は、お母さんとはこういう関係、息子さんとはこういう関係ときちんと自分で関係性を構築しているんです」—そんなこと〜、先に言ってくれなきゃわからないですよ。「こういうことを始めに分かって飼う人は少ないです。でもいつからでも、その関係性は再構築できるんですよ。そのように訓練さえすれば。」ほ〜、なるほど！！我が犬も訓練でこんなにおりこうになるのか！

渡辺さんの奥様はこんなことをおっしゃる。「躾の本を読んでそのようにするのもいいけれど、飼い主さんはもっと五感を使って犬と接して欲しいです。」なんだか、子育てに似てる…。

渡辺さんと一緒に2日間行動させてもらった。犬とのルールが明確に決まっていて、服従させようという感のない教育。褒めておやつをあげて、何をしたら褒められるのかが犬に伝わると、犬はあっというまに変わっていく。

こんなに変わるんだったら、我が家の柴犬も渡辺さんに預けようかな〜。「僕が預かってトレーニングしても飼い主さんが犬をコントロールできなかつたら意味がないでしょ？だからトレーニングするのは飼い主さんです。犬じゃないんですよ。人が変わらないと犬は変わらない。」

WAN LOVE <http://www.wanlove.com>
Twitterはこちら <http://twilog.org/wanlovecom>



ボクのこと？

第52次隊長にきく

南極観測のこれから

とてもダンディーだ。この先生が本当に南極に行くのだろうかと思うが、すでに3回も越冬し、今秋出発する第52次隊の隊長だということだから驚いてしまう。連載を終える最終回、いろいろな話をしてもらった。

案内人 **山内 恭** 国立極地研究所教授・副所長・北極観測センター長・第52次南極地域観測隊長

プロフィール

東京都出身。昨年、極域の気象についてわかりやすくまとめた著書「南極・北極の気象と気候」が出版された。鉄道が趣味。幼いときからずっと現在まで続いている。東工大に入学した後、土木を専攻して鉄道のことを勉強しようかと思っていたところ、応用物理に合格してしまったから、さらに気象をやっている東北大学の大学院に受かってしまったから今の道にいると話す。極地研の部屋には電車の模型が並んでいるが、南極にも持って行くのだろうか?

まずは鉄道の話から

小学生の頃気象クラブで天気図を書いたり、学校の玄関にある黒板に温度を記録したりしていました。でも元々好きなことといったら、電車の方が主流。幼いときは誰も乗り物に興味を持つが、それが終わらないで結構つくづくその後もずっと続いている。今も時間があれば電車に乗りに行ったり、写真を撮ったりしたいのだけれどなかなか。電車について研究的にコツコツ調べる人たちがいて、私も割りとそれが好きですね。今は雑誌を読んだりする程度ですが、通勤の時も毎日電車に乗る時は、今日はどういう型が来たとかチラチラ気にしたりしています。だから電車通勤は苦ではないですね。

地球の神秘

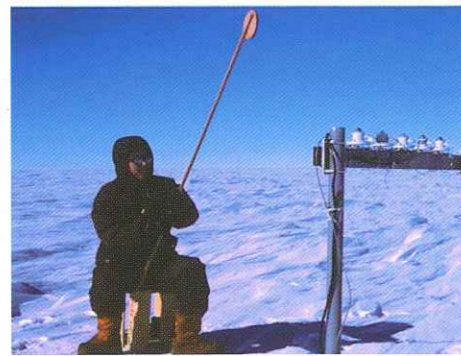
気象とか気候はとても身近なことです。空気や温度がどうなるか、天気はどうなるか。地球というのは一方で暖まり一方で冷えてバランスをとり、今の気候が決まります。赤道域で太陽の光がいっぱい入って来る。暖まった空気は極域に運ばれ冷やされて熱が放出される。極域は地球の気候を決める非常に重要な場所なのです。空気が流れたり、海が流れたりして熱は運ばれますが、熱が混ざるので、地球全体が同じ温度に近づきます。しかし月には空気も海もないから、月の裏側はものすごく寒い。近いところでは火星や金星には空気はあるけれど、地球とは全く異なります。そういう意味では、地球は非常に特殊な星で、特にその温度がすごい。水が凍る温度と沸騰する温度の間

にある。少しでもズレていると全然ちがってきますよね。奇跡的なのか必然的なのか、そこはわからないところですが。

気象といっても基本的なところは気象庁が調べます。私たちはもっと特殊なことを調べる。例えばどう日射が入ってきてどういう風に赤外線が冷えるのか。これは熱収支を調べている写真です。日射計で太陽の強度を測るのですが、地球全体の温度は大きくはほぼ一定です。が、場所によって熱のバランスは違うわけで、南極ではどのくらいマイナスなのか、要するにどのくらい熱を放出しているのか、その仕組みや変化などを調べるのです。論文は出ていますが、まだ断定できるだけの良いデータが少ない。観測には長い時間がかかるし、よほどちゃんと測らないと何をしているかわからない。ずっと監視し、きちんと測るということでは南極が非常にいいわけです。人々の暮らしから離れているから。でも影響がないわけではなく、CO₂の濃度はずっと伸びている。じわじわと増えているし、遠いのに影響があるということが逆に大事なことです。

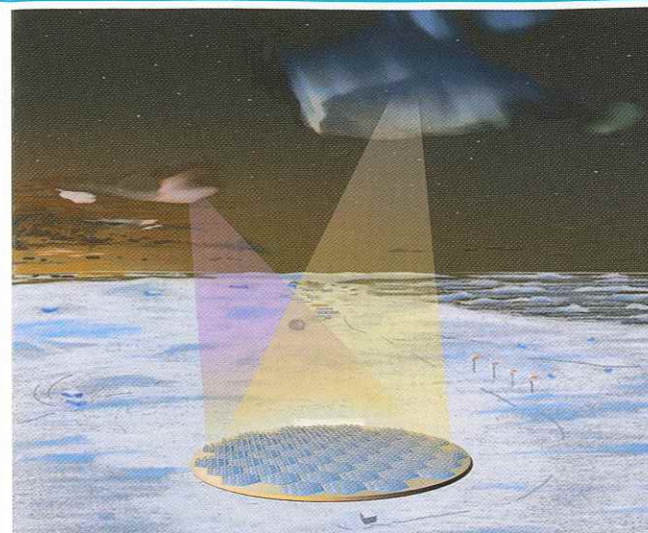
温暖化の話

私の属する日本気象学会は基本的に「温暖化は確実にある」という立場です。温暖化に対

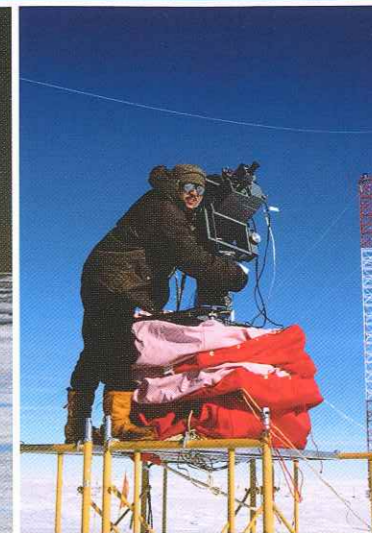


して懐疑論を唱える方は、専門ではない周辺の人が多い。ただ温暖化もすべてが人間活動、CO₂のせいかというそうではなく、そこに色々な自然の変動も乗っかっていることは確かです。もう1つは時間的スケールの違いですね。10万年というスケールで見ると、確かに今は一番温かい時期なのでいずれは寒冷化するはずだと。そのこと自体はその通り。だからといって今の温暖化があまり問題ではないということにはならない。やはり10年、100年スケールでは温暖化は大きい問題です。ただ地球の温暖化や寒冷化を考える時、絶望的かどうかは微妙です。私がよく学生に言うのは、生き物は非常に強いものであって、現生人類も既に20万年生きてきた。いわゆる種としての人類はもう何百万年。彼らは氷河期、間氷期のサイクルを超えて生きていたわけで、我々はそんなに弱くないんです。もちろん今のままの生活はできません。もっと辛い生活になるだろうけれど、人類が減ってしまうなんてことにはならないと思います。もう20万年生きてるとい

南極みずほ基地での放射観測の風景(1979年11月26日 山内撮影)



大型大気レーダー(PANSY)のイメージ



南極みずほ基地での、分光器による太陽放射観測風景。右後ろに見えるのが30m観測塔(1979年12月3日 山内、最初の越冬の時)



南極初の成層圏高度三十キロメートルまでの大気をサンプリングする回収気球実験の風景(一九九八年一月三日)

うことはやはりすごいです。氷河期にむしろ人類は地球全体に広がった。そういうことを皆さん、もっと考えたらどうかと、最近では言っています。

だからといってCO₂を出していいといっているのではないです。人間は強いと言っている。紫外線のせいで皮膚ガンが増えるといいますが、そうかもしれないけれど、それは白い人がオーストラリアに行ったためで、逆に黒い人が寒いところに行くからくる病が起きるとか。もともとはみんなアフリカから来たのだけれど、長く同じところにいてゆっくり変化してきたのです。そういったことをもっと知らないといけない。

昭和基地では温暖化はあまり目立っていません。南極大陸の東側はあまり目立たないけれど、西側、南極半島といわれるところは激しい。世界中で温暖化が激しいと言われているのは北極のアラスカ、シベリアと南極半島です。南極北極は温暖化が顕著に現れる場所のように言われていますが、昭和基地のように実はむしろ温暖化が抑えられている場所もあるのです。そのメカニズムが問題なわけで、今はオゾンホールが関係しているのではないかと議論されています。オゾンホールがあると極の風の渦が強まる。その渦が下の方にまで来て、

渦が強すぎて熱が入り込めないのではないかと。ですから逆にオゾンホールが解消すると温暖化してくるかもしれないですね。元々温暖化はオゾンホールとは関係ないと言われていたのに、実はつながっているかもしれない。

第52次隊長として

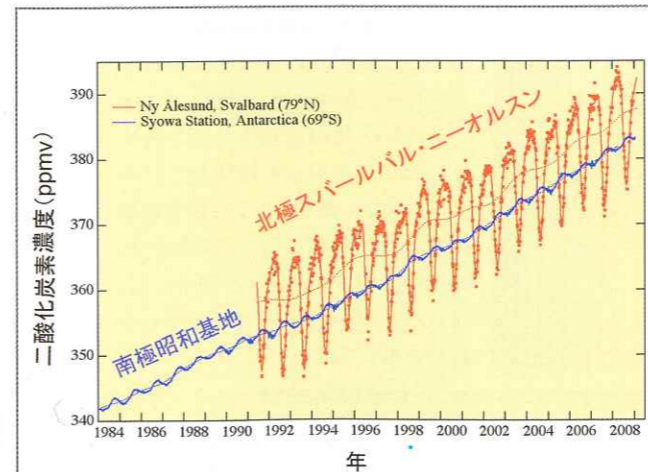
今回のミッションは大型大気レーダー「パンジー」の建設です。私とその研究に関わっているので行く事になったわけです。パンジーは地上数十キロまでの高さの風の強さや方向を観測します。この大型レーダーひとつで多くのことがわかるわけで、たとえば先ほど話した南極のオゾンホールと温暖化のことなども調べられます。このレーダーは南極では初めてで、世界的にも日本が一番進んでいるそうです。51次隊はその建設準備の測量をした。実際に大気レーダーのアンテナを建てるのはこの52次です。大変なのはこの建設を一気にやらせてしまわなければならないこと。夏の間1000本のアンテナを建てる。専門の人ばかりがいるわけではないので、とにかく人手のあるうちに建てるだけ建ててしまっ、観測を始めねばなりません。夏隊が帰ってしまうとうる人手はありませんからね。

今回私が南極に行くのはちょっと予想外の話で、普通はもっと若い人が行くんです。でも高齢化社会だから(笑)。14年前、38次の隊長で最後だと思っていました。もともとスポーツも得意じゃないし、フィールド系ではなかった。それでも南極に行くのですから、そういう時代になったということです。南極観測隊の雰囲気も一方では変わらない面もありますが、やはり変わってきています。隊員の気質のようなものはだいぶ違う。今風になってい

ます。なにかやろうとすると昔は全員が集まりました。たとえば映画を見ようという、食堂にテレビが1台(昔は16ミリの映画)しかなかったから全員が集まりました。でも今は個室にテレビを持っている人もいるのでね。食堂で映画見ているのは年寄りだけ(笑)。これは1つの例ですが、典型的なことだと思います。

第20次の時は電報しかなかった。28次では電話ができるようになり、38次はメール。今はインターネットもできるし、昭和基地と極地研は内線電話でつながっている。孤立感は減りましたね。

極地研が「大学共同利用機関」であるということは、いろいろな機関と共同でやるのが任務。けれどもなかなかここが難しいところです。大学に所属している研究者は教育の他は自分の研究に徹することができませんが、私たちはそうではない。共同研究をやったり自分の研究もやらなければならない。矛盾を感じますし、結構苦労しています。また、日本の観測隊は良くも悪くもユニークなシステムで、諸外国にはなかなかない。越冬30人。夏隊を入れても60人でこれだけの多くの研究をしているわけですから、ある意味では効率がいいわけです。アメリカは千人以上。しかもその中でサイエンスに携わるのは1割。9割はサイエンスを支える人。ずっと規模の小さいヨーロッパ諸国は研究も小規模です。日本のようにオールラウンドでやっているところは少ないですが、今のままでいいかどうかは疑問ですね。観測をしている割に論文が云々と言われると、いろいろ考えます。若い人は研究していなさいということになります。だから私のような者が南極に行くんですよ。みなさん南極っていうものに興味をもたれたと同時に、こういった事情も理解していただきたいですね。



南極昭和基地および北極スバルバル・ニー・オルスンにおける大気中CO₂濃度の変化(森本真司氏提供)

■石田郷子 俳人。1958年東京生まれ。おもに武蔵野をフィールドに俳句。句集に『秋の顔』『木の名前』。俳句雑誌「椋」代表。俳人協会・日本文藝家協会会員。

俳句というフィルター

玉川上水の緑道を、毎日多くの人が歩いて来ている。走っている人、歩いている人、自転車の人、犬を連れてくる人、一人の人、仲間と連れ立っている人……。山道でそうするように、コンニチハと挨拶して擦れ違ふこともある。

道に沿ってさまざまな木がある。ホオノキやミズギ、ナラ、クヌギ、イヌシデなどの高木が葉を茂らせて空を覆い、目の届く高さにはエゴノキやツリバナなどの小さめの木が青い実をつけている。

木陰の涼しさ、葉擦れの音、そして、ちょっと腰掛けたいようなベンチがあつて、すべり台と水飲み場のある小さな小さな公園もあつて……。雨の日だつていい。土と草の匂い、川音の高さ、濡れて光る道。うん、それも結構いい。

子供の頃は、しょっちゅう長靴を履いていたような気がする。小学校への道は砂利を撒いただけの未舗装路で、雪のあとや梅雨どきなど、ぐちゃぐちゃの泥んこ道になつた。

今、そんな道を探そうと思つたってなかなかない。長靴が脱げてしまいそうな泥んこ道を、いやというほど歩いたから、近所の道が舗装されたときに

は、とても嬉しかったんだけどなあ。

玉川上水の緑道は、かなり貴重な存在である。それでいいのか、毎日多くの人が歩き、道の真ん中あたりは、踏み固められてつるつるになつている。

土を踏むと足の裏が喜ぶ。そんな感じがする。そして、足の裏から何かか体の中に入ってくるような気がする。

私は、俳句の仲間たちと、そんな道を歩いて、好きなところでお昼を食べ、そのあと句会をする。

俳句を作るのは、私の胸の中では二の次のことで、土を踏み、花や虫や鳥と出会い、その名前を知るだけで、すでに満ち足りているんだけど、俳句にしてみると、意外な自分が顔を出して



イラスト：小林木造

面白い。

それに、「俳句を作る」「俳句の勉強をする」という目的があれば、サラリーマンも主婦も、私みたいなフリーランスも、なんとかして日常の忙しさから抜け出してくるものだ。俳句の季節を知り、あるいは確かめるために外歩きをしてみると、実際にはその忙しく単調な日常の中にも、季節がたくさんあったのだということに気づき始める。俳句というフィルターを手にいれるのだ。

そうなればしめたもの。

俳句を作るために各地の神社仏閣や名所などへ行くことも、「吟行」と呼ばれて、さかんに行われているけれど、こんなささやかな「吟行」も、大いにありなのだ。

私は玉川上水の緑道を毎月みんなと歩く。それがもう三年にもなる。三年続いて、まだ続けるつもりでいる。いや、ずっとかな？

いつの間にかベテランになつたメンバーが新しい人に、木の花の名前を教えてあげている。え？俳句？うん、ちょっとは上手になつたみたい。

合歡の花日のほとばしるところあり

潤一

街の話題

■柴崎市民体育館へGo!

4月にリニューアルした柴崎市民体育館が、6月1日からさらに便利になりました。なんといつでも仕事帰りにちょっと運動できるのがいい！朝9時から夜11時まで開館。休館日は第3月曜日だけ。明るくて清潔、塩素を使わない滅菌方法で肌にやさしい水のプールや、マシンを新しく入れ替えたトレーニングルームは、基本的にいつ行っても利用できます(夏の間だけプールは2時間制)。初心者も子どもも是非挑戦してみたいのがクライミングウォール。力で登るのではなく、バランスや柔軟性でパズルのように道筋を解きながら登ります。本人も、見ている人も楽しいお勧めの全身運動。毎日続けると知らないうちに筋肉がついている！館内中庭の部分には、HIP HOPエリア。周囲を鏡で囲った環境で、人目を気にせず踊れます。スタジオではコース

型教室と自由参加型教室が新規オープン。ダンス、ヨガ、ボクササイズ、ゆっくりリラックスしながら動く体操など、目的に応じて選べます。コース型教室の次の参加者募集は8月を予定しているのですが、自由参加型ならいつでもOK。利用した分だけ支払うシステムもリーズナブル。体育館内には専用ロッカーがあり、月額1000円～1500円でシューズや道具を置いておけます。爽快な毎日のために、運動する習慣を心がけたいですね。柴崎市民体育館へはモノレール柴崎体育館駅から徒歩2分です。



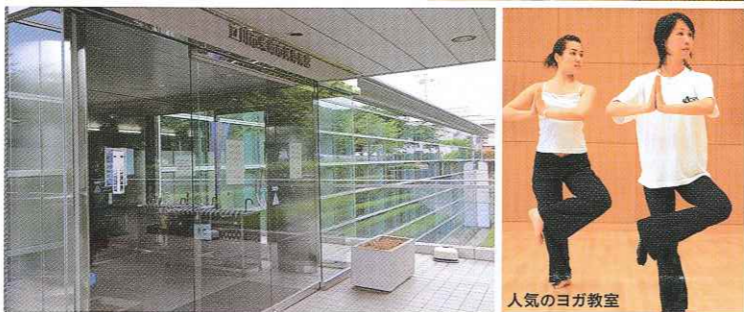
水質の良さを誇るプール



トレーニングルーム



クライミングウォール



人気のヨガ教室

この人この店 (84)

パンの店 fermata

鈴木純一郎さん



住所は国分寺市ですが、ここは立川通り沿い。オープンして1年半。「おいしいパン」の評判ですっかり売り切れちゃうことも。「お勧めはバゲットとかクロワッサン、それに食パンです」とおっしゃるのは鈴木さん。バゲットコンクールで入賞した腕前は、一度食べればわかります。生地を大切に、丸1日かけて作るバゲットは、少し細身でこんがり香ばしい。薄くスライスすれば、それだけでも美味しくいくらでも入ってしまう。食パンはみっちりモチリ、小麦が香る密度の濃いパン。サクサクのクロワッサンをコーヒート食べれば、フランスにいるみたい。生の果物をふんだんに使ったデニッシュや昔懐かしいクリームパン。ありそうでなかなかないジャムパンもここにはあります。ボンパドウルで25年。独立して、さらに美味しいものを追求している鈴木さんです。



●〒185-0035 国分寺市西町5-36-7 ●TEL 042-534-3334 ●営業時間 午前7時～19時(売り切れ次第終了) ●定休日 日曜日、月曜日 ●多摩てばこネット(お店のコーナー)にも掲載中。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にいつもあります。今月は 錦町 のお店です。

- 錦町 手づくり味噌の材料専門店 北島こうじ店 524-3190
new gyoza1059 餃子天国 526-2283
イタリアンダイニング asa 529-5668
ワインバー パル アラディ 523-3917
テーブルウェア H.works 521-2721
カフェ CAFE SOMMEILLER 527-1440
食堂 marumi-ya 528-6226
手うち蕎麦 なかさと 524-5758
中国気功整体院 立川院 529-1088
焼きたてパンの店 ヴァイツェンブロート 527-2176
日本クッキングスクール 522-3440
ラーメン店 麺や光 525-5539
ザ・クレストホテル立川 521-1111
美容室 アリス 525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン 524-9280
そば処 そば菜 522-7558
画廊 無門庵ギャラリー 529-2323
美容室 FALCO 528-2389
諸官公庁備用・日用雑貨 池田屋 522-3731
N HAIR WORLD 523-5336
しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん 527-2228
T T M 株式会社 524-5787
スペイン料理 TAPAS 529-0733
Bakery Cafe Crown 526-2226
三田花店本店 524-4187
いわさき痛みの整骨院 529-5123
(有)朝日屋酒店 525-6333
にしやま薬局 525-9212

jorakugajo

真如苑提供番組<常楽我浄>

スカパーフェクTV 216ch
マイテレビ アナログ 11ch
デジタル 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

立川・多摩の話題いっぱい!

わたしとあなたとたちかわを結ぶ 街ナビネット
多摩てばこnet

Tamatebako
www.tamatebakonet.jp/

立川市柴崎町2-1-10
高島ビル4F
TEL/042-528-0082



かたこと

◆いつのまにか1年の折り返し、7月号です。月日の経つのは速いもの。好評だった連載も最終回を迎えました。極地研ではずいぶんたくさんの方を教えてもらいました。石田郷子さんのエッセーからは常に旬の多摩が見えていました。まだまだ登っていない山はあるけれど、「立川から見える山」も一旦終了。またの機会をお楽しみに。◆ドッグトレーナーの渡辺さん。「皆さん「うちの子は」とおっしゃるけれど、犬ではないんです。飼主さんの問題」と。耳が痛〜い。◆柴崎市民

体育館は民間に管理委託。ぐっと利用しやすくなりました。是非、運動不足解消に。◆「パンのある風景」執筆者の(くおくまゆり)さん。実は7人の女子高生の名前から文字を拾って作った名前。文章を書く人、携帯でアンパンマンのことを調べる人、えくてびあんと連絡係、場を盛り上げる人、黙って座って癒し系など、それぞれの分担が決まっていました。中国から来たお嬢さん。実はアンパンマンを育てていません。それでも「愛と勇気」は知っていました。恐るべし、アンパンマン! えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん (c) 7月号 第28巻 通巻308号 平成22年7月1日発行

発行 有限会社 えくてびあん
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp

編集スタッフ 大久保清志/清水恵美子/中瀬子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMMNET design factory
写真 五来孝平/中村 伸
スタイリスト 小川町子
印刷 株式会社 大廣社

無断転載を禁じます。

表紙の人

長門保明さん(緑町)

国営昭和記念公園「花みどり文化センター」内にある昭和天皇記念館は昭和天皇、香淳皇后ゆかりの品々や写真、資料等を陳列している。昭和天皇と昭和という時代を振り返るこの施設の館長がこちらの方。島根県生まれ。厚生省で全国戦没者追悼式に第1回から関わり、その後宮内庁に出向して宮務主管までつとめた。訪れる人に機会あるごとに昭和天皇のエピソードを語る。温厚かつ重厚な語り部である。

昭和天皇記念館で 写真:細江英公



アンパンマン やなせたかし

世を超えて愛される国民的英雄（アンパンマン）。遡ること37年、1冊の絵本から誕生した。空腹で困っている人には自分の顔を分け与え、いじめられている子どもには優しく手を差し伸べる。悪には1人で立ち向かい、力の限り戦い続ける。でも本当は強さの裏に弱さを併せ持つ、人間よりも人間らしい「あんぱん」なのだ。

アンパンマンと言えば〈アンパンマンマーチ〉。「愛と勇気だけが友達さ」というフレーズは有名だが、「なんのために生まれて何をして生きるのか こたえられ

ないなんてそんなのはいやだ」という歌詞。なぜ今という瞬間があるのかを考えさせられる。歌詞全体に流れるアンパンマンの〈優しさ〉と〈ほんのささやかな親切〉。子どものいなかった作者夫妻の理想の子ども像なのだろう。アンパンマンが発するメッセージは、かつて子どもだったことを忘れている人たちにごそ必要なのかもしれない。

立川市内高校2年在学
おくやまゆり

今月のパン

Bakery Café Crown

立川市錦町2-4-2 TEL 042-526-2226
営業時間 8時～19時
年中無休